

2010 年世界農林業センサスの結果

(平成 22 年 2 月 1 日現在)

I 調査のあらまし

1 調査の目的

2010年世界農林業センサスは、平成22年を調査年とする農林業構造統計（統計法（平成19年法律第53号）第2条第4項に規定する基幹統計）を作成し、食料・農業・農村基本計画及び森林・林業基本計画に基づく諸施策並びに農林業に関する諸統計調査に必要な資料を整備するとともに、国際連合食糧農業機関（FAO）の提唱する2010年世界農林業センサスの趣旨に従い、各国農林業との比較において我が国農林業の実態を明らかにすることを目的とする。

2 調査の根柢

統計法（平成19年法律第53号）、統計法施行令（平成20年政令第334号）及び農林業センサス規則（昭和44年農林省令39号）。

3 調査の期日

平成22年2月1日現在で実施した。

4 調査の体系

調査の名称		調査対象	調査組織	調査方法
世界農林業センサス	農林業経営体調査	農林産物の生産を行うか又は委託を受けて農林業作業を行い、生産又は作業に係る面積・頭数が一定規模以上の「農林業生産活動を行う者（組織の場合は代表者）」	農林水産省－北海道－旭川市－指導員－調査員	調査客体による自計申告調査
	農山村地域調査（市区町村調査）	全国の市区町村	農林水産省－北海道農政事務所	往復郵送調査（申出によりオンライン調査も可能）
	農林業経営体調査（農業集落調査）	農業集落（全域が市街化区域の農業集落を除く）	農林水産省－北海道農政事務所－調査員	農業集落精通者に対する自計調査（申出により調査員の面接聞き取りも可能）

5 利用上の注意

（1） 数値について

ア この結果の数値は、農林水産省が公表する確定値である。

イ 農家数で1985年以前は、農家の定義が旧定義のため、取扱いに注意が必要である。

旧定義：経営耕地面積が10a以上、又は農作物販売金額が10万円以上である。

(2) 2000年農林業センサスにおける主な改正点

ア 農家調査のうち「自給的農家」に係る調査項目については、調査客体の負担軽減という観点から、世帯の状況及び経営耕地面積のみとし、項目数の大幅な削減を行った。

イ これまで「販売農家」・「自給的農家」とも同じ調査票を使用していたが、自給的農家の調査項目を大幅に削減したことに伴い、調査票を詳細調査票（販売農家）と簡略調査票（自給的農家）に分けて実施した。

(3) 2005年農林業センサスにおける主な改正点

ア これまで10年周期で実施してきた林業センサスを農業センサスと統合して「農林業センサス」として、5年ごとに実施することとした。

イ 従来の農業に関する3つの調査（農家調査、農家以外の農業事業体調査、農業サービス事業体調査）と林業に関する3つの調査（林家調査、林家以外の調査、林業サービス事業体調査）を統合し、「農林業経営体調査」として一本化した。

このことにより、今まで農林業の経営形態別に別個の調査として把握してきたが、今回より経営という共通の視点で一元的に把握することが可能になった。

ウ 農業集落調査と林業地域調査を統合して、「農山村地域調査」を実施した。

(4) 2010年農林業センサスにおける主な改正点

ア 北海道用、都道府県用、沖縄県用に調査票が分かれていたが、全国共通の調査結果の表章が可能となるよう1種類の調査票に統一した。

イ 全国統一時点の調査結果を得る観点から、沖縄県の調査期日を他の都道府県と同様2月1日現在とした。

(5) 用語の解説

ア 「農林業経営体」とは、農林産物の生産を行うか又は委託を受けて農林業作業を行い、生産又は作業に係る面積・頭数が、次の規定のいずれかに該当する事業を行う者をいう。

(ア) 経営耕地面積が30a以上の規模の農業

(イ) 農作物の作付面積又は栽培面積、家畜の飼育頭羽数又は出荷羽数、その他の事業の規模が次の農林業経営体の外形基準以上の農業

① 露地野菜作付面積	15 a
② 施設野菜栽培面積	350 m ²
③ 果樹栽培面積	10 a
④ 露地花き栽培面積	10 a
⑤ 施設花き栽培面積	250 m ²
⑥ 摹乳牛飼養頭数	1頭
⑦ 肥育牛飼養頭数	1頭
⑧ 豚飼養頭数	15頭
⑨ 採卵鶏飼養羽数	150羽
⑩ ブロイラ一年間出荷羽数	1,000羽
⑪ その他	調査期日前1年間における農業生産物の総販売額 50万円に相当する事業の規模

(ウ) 権原に基づいて育林又は伐採（立木竹のみを譲り受けする伐採を除く。）を行うことができる山林（以下「保有山林」という）の面積が3ha以上の規模の林業（調査実施年を計画期間に含む「森林施業計画」を策定している者又は調査期日前5年間に継続して林業を行い育林又は伐採を実施した者に限る。）

(エ) 農作業の受託の事業

(オ) 委託を受けて行う育林若しくは素材生産又は立木を購入して行う素材生産の事業（ただし素材生産については、調査期日前1年間に200m³以上の素材を生産した者に限る。）

イ 「農業経営体」とは、「農林業経営体」の規定のうち、(ア), (イ), (エ) のいずれかに該当する事業を行う者をいう。

なお、2000年世界農林業センサスでは、販売農家、農家以外の農業事業体及び農業サービス事業体をあわせた者となる。

ウ 「林業経営体」とは、「農林業経営体」の規定のうち、(ウ) 又は(オ) のいずれかに該当する事業を行う者をいう。

エ 「家族経営体」とは、「農林業経営体」の規定のうち、世帯単位で事業を行う者をいう。

オ 「経営耕地」とは、調査期日現在で農林業経営体が経営している耕地（けい畔を含む田、樹園地及び畠）をいい、自ら所有し耕作している耕地（自作地）と、他から借りて耕作している耕地（借入耕地）の合計である。

カ 「農家」とは、調査期日現在で、経営耕地面積が10a以上の農業を営む世帯又は経営耕地面積が10a未満であっても、調査期日前1年間における農産物販売金額が15万円以上あった世帯をいう。

キ 「販売農家」とは、経営耕地面積が30a以上又は調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円以上の農家をいう。

ク 「自給的農家」とは、経営耕地面積が30a未満で、かつ、調査期日1年前における農産物販売金額が50万円未満の農家をいう。

ケ 「主業農家」とは、農業所得が主（農家所得の50%以上が農業所得）で、調査期日前1年間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいる農家をいう。

コ 「準主業農家」とは、農外所得が主（農家所得の50%未満が農業所得）で、調査期日前1年間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいる農家をいう。

サ 「副業的農家」とは、調査期日前1年間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいない農家（主業農家及び準主業農家以外の農家）をいう。

シ 「農業専従者」とは、調査期日前1年間に自営農業に150日以上従事したものをいう。

ス 「専業農家」とは、世帯員の中に兼業従業者が1人もいない農家をいう。

セ 「兼業農家」とは、世帯員の中に兼業従業者が1人以上いる農家をいう。

ソ 「兼業従業者」とは調査期日前1年間に他に雇用されて仕事に従事した者又は農業以外の自営業に従事した者をいう。

タ 「第1種兼業農家」とは、農業所得を主とする兼業農家をいう。

チ 「第2種兼業農家」とは、農業所得を従とする兼業農家をいう。

ツ 「農業従事者」とは、15歳以上の世帯員のうち、調査期日前1年間に自営農業に従事した者をいう。

- テ 「農業就業人口」とは、農業従事者のうち、調査期日前1年間に自営農業のみに従事した者又は農業とそれ以外の仕事の両方に従事した者のうち、自営農業が主の者をいう。
- ト 「基幹的農業従事者」とは、農業就業人口のうち、普段仕事として主に農業に従事している者をいう。

II 結果の概要

2010年世界農林業センサスの結果は次のとおりである。(前回比は2005年農林業センサスの結果との比較である)

農林業経営体	1,470 経営体	(前回比 24.1% 減)
農業経営体数	1,397 経営体	(前回比 22.4% 減)
(うち家族経営)	(1,354) 経営体	(前回比 22.8% 減)
農業従事者数※	3,282人	(前回比 21.7% 減)
経営耕地面積※	11,393 ha	(前回比 3.9% 減)
乳用牛飼養経営体数※	22 経営体	(前回比 21.4% 減)
乳用牛飼養頭数※	1,114頭	(前回比 19.7% 減)
肉用牛飼養経営体数※	17 経営体	(前回比 13.3% 増)
肉用牛使用頭数※	1,135頭	(前回比 15.2% 増)
農家数	1,647戸	(前回比 16.5% 減)
林業経営体数	179 経営体	(前回比 32.5% 減)
(うち家族経営)	(151) 経営体	(前回比 31.4% 減)

※農業経営体のうち販売農家

1 農林業経営体

～農林業経営体数は1,470経営体となり、大幅に減少～

平成22年2月1日現在の農林業経営体数は1,470であり、農業経営体はその9割を超える1,397経営体で、うち1,354経営体が家族経営による経営体である。

また、林業経営体に該当するのは179経営体で、うち151経営体が家族経営による経営体である。

これを前回調査と比べると、農林業経営体全体が24.1%，農業経営体が22.4%（うち家族経営が22.8%），林業経営体が32.5%（うち家族経営が31.4%），それぞれ減少した。

表1 農林業経営体数

単位：経営体、%

区分	農林業経営体	農業経営体		林業経営体	
		うち家族経営	うち家族経営	うち家族経営	うち家族経営
2005年	1,936	1,801	1,754	265	220
2010年	1,470	1,397	1,354	179	151
増減数	△466	△404	△400	△86	△69
増減率	△24.1	△22.4	△22.8	△32.5	△31.4

(注)農業経営と林業経営を合わせて営んでいる経営体は、農業経営体と林業経営体にそれぞれ含まれるため、農業経営体数と林業経営体数の合計と農林業経営体数は一致しない。

2 農業経営体

(1) 農業経営体数

ア 組織別経営体数

～農業経営体数が減少する中、法人化している経営体数は増加～

農業経営体を組織形態別にみると、法人化していない経営体が 1,351 経営体（構成比 96.7%）と大部分を占めており、法人化している経営体は 45 経営体（同 3.2%）、地方公共団体・財産区は 1 経営体（同 0.1%）であった。

これを前回調査と比べると、法人化していない農業経営体が 23.4% 減少した一方、法人化している農業経営体は 25.0% 増加しており、農業経営体の法人化が進んでいる。

表2 組織形態別農業経営体数

単位:経営体、%

項目	計	法人化している					地方公共団体・財産区	法人化していない	個人経営体	
		小計	農事組合法人	会社	各種団体	その他の法人				
実数	2005年	1,801	36	7	26	3	-	1	1,764	1,741
	2010年	1,397	45	8	34	2	1	1	1,351	1,339
対前回比	増減数	△ 404	9	1	8	△ 1	1	0	△ 413	△ 402
	増減率	△ 22.4	25.0	14.3	30.8	△ 33.3	-	0.0	△ 23.4	△ 23.1
構成比	2005年	100.0	2.0	0.4	1.4	0.2	-	0.1	97.9	96.7
	2010年	100.0	3.2	0.6	2.4	0.1	0.1	0.1	96.7	95.8

イ 経営耕地面積規模別経営体数（販売農家）

～大規模な農業経営体が増加～

農業経営体（販売農家のみ）を経営耕地面積規模別にみると、1～3ha 層が 337 経営体（構成比 25.0%）で最も多く、次いで 5～10ha 層の 239 経営体（同 17.8%）、3～5ha 層の 232 経営体（同 17.2%）の順となっている。

これを前回調査と比べると、10ha 未満の階層で 30.0% 減少し、10～20ha の階層で 4.2% の減少に鈍化し、20ha 以上の階層では 23.9% の増加に転じており、経営規模の拡大が進んでいる。

表3 経営耕地面積規模別経営体数(販売農家)

単位:経営体、%

区分	総数	1ha未満	1～3ha	3～5ha	5～10ha	10～20ha	20ha以上	
実数	2005年	1,746	206	475	371	340	237	117
	2010年	1,346	166	337	232	239	227	145
対前回比	増減数	△ 400	△ 40	△ 138	△ 139	△ 101	△ 10	28
	増減率	△ 22.9	△ 19.4	△ 29.1	△ 37.5	△ 29.7	△ 4.2	23.9
構成比	2005年	100.0	11.8	27.2	21.2	19.5	13.6	6.7
	2010年	100.0	12.3	25.0	17.2	17.8	16.9	10.8

ウ 農産物販売金額規模別経営体数（販売農家）

～1,500万円以上の農業経営体が増加～

農業経営体（販売農家のみ）を農産物販売金額規模別にみると、50～300万円層が386経営体（構成比28.7%）と最も多く、次いで500～1,000万円層の251経営体（同18.6%）、1,500万円以上の層の229経営体（同17.0%）の順となった。

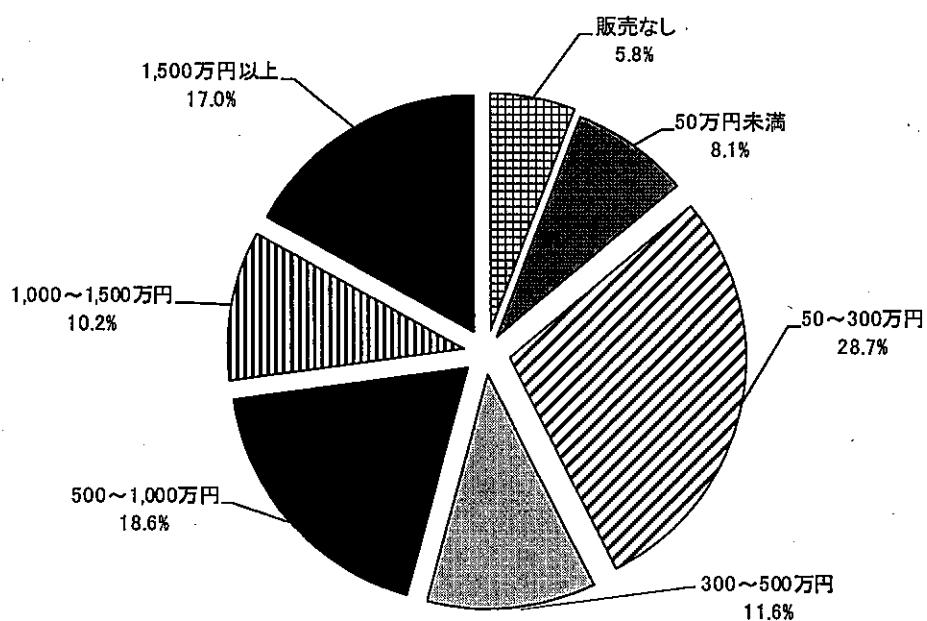
これを前回調査と比べると、1,500万円以上の層を除き全ての階層で減少しており、経営耕地面積と同様、販売金額でも大規模な経営体が増加している。

表4 農産物販売金額規模別経営体数(販売農家)

単位:経営体, %

区分	経営体数		対前回比		構成比	
	2005年	2010年	増減数	増減率	2005年	2010年
総 数	1,746	1,346	△ 400	△ 22.9	100.0	100.0
販 売 な し	117	78	△ 39	△ 33.3	6.7	5.8
50万円 未 満	193	109	△ 84	△ 43.5	11.1	8.1
50 ~ 300万円	513	386	△ 127	△ 24.8	29.4	28.7
300 ~ 500万円	256	156	△ 100	△ 39.1	14.7	11.6
500 ~ 1,000万円	312	251	△ 61	△ 19.6	17.9	18.6
1,000~1,500万円	154	137	△ 17	△ 11.0	8.8	10.2
1,500万円 以 上	201	229	28	13.9	11.5	17.0

図1 農産物販売金額規模別構成(販売農家)



エ 農産物販売金額1位の部門別経営体数(販売農家)

～養豚のみ横ばい、他の全ての部門で減少～

農作物を販売した農業経営体(販売農家のみ)を農産物販売金額が1位となった部門別にみると、稲が806経営体(構成比63.6%)で最も多く、次いで施設野菜の168経営体(同13.2%)、雑穀・いも類・豆類の108経営体(同8.5%)の順となった。

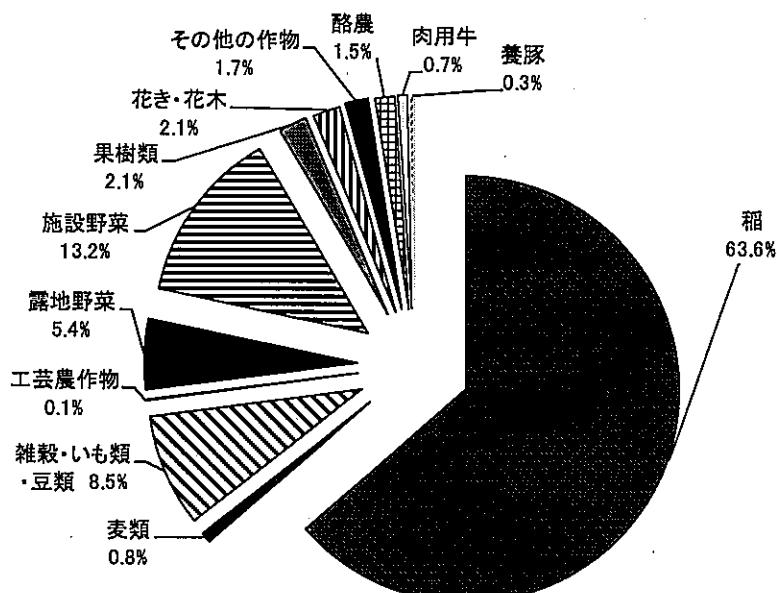
これを前回調査と比べると、全体で360経営体(22.1%)の減少となり、養豚を除き全ての部門で減少した。

表5 農産物販売金額1位の部門別経営体数(販売農家)

単位:経営体、%

区分	経営体数		対前回比		構成比	
	2005年	2010年	増減数	増減率	2005年	2010年
総 数	1,628	1,268	△ 360	△ 22.1	100.0	100.0
稲	998	806	△ 192	△ 19.2	61.3	63.6
麦類	61	10	△ 51	△ 83.6	3.7	0.8
雜穀・いも類・豆類	147	108	△ 39	△ 26.5	9.0	8.5
工芸農作物	3	1	△ 2	△ 66.7	0.2	0.1
露地野菜	81	68	△ 13	△ 16.0	5.0	5.4
施設野菜	196	168	△ 28	△ 14.3	12.0	13.2
果樹類	29	27	△ 2	△ 6.9	1.8	2.1
花き・花木	33	26	△ 7	△ 21.2	2.0	2.1
その他の作物	37	22	△ 15	△ 40.5	2.3	1.7
酪農	26	19	△ 7	△ 26.9	1.6	1.5
肉用牛	12	9	△ 3	△ 25.0	0.7	0.7
養豚	4	4	0	0.0	0.2	0.3
養鶏	1	-	△ 1	△ 100.0	0.1	0.0
その他の畜産	-	-	0	0.0	0.0	0.0

図2 農産物販売金額1位の部門別構成(販売農家)



(2) 就業状態(販売農家)

～農業従事者・農業就業人口・基幹的農業従事者の全てで減少～

農業従事者数は3,282人で、前回調査に比べて910人(減少率21.7%)減少した。

これを男女別でみると、男が1,716人(前回2,159人)で20.5%，女は1,566人(同2,033人)で23.0%，それぞれ減少している。

また、農業就業人口が2,745人で、前回調査に比べて693人(減少率20.2%)、基幹的農業従事者が2,450人で580人(19.1%)減少した。

表6 男女別年齢別農業従事者数・農業就業人口・基幹的農業従事者数(販売農家)

<男女別>

単位:人, %

区分	2005年			2010年			増減率		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
農業従事者	4,192	2,159	2,033	3,282	1,716	1,566	△ 21.7	△ 20.5	△ 23.0
農業就業人口	3,438	1,659	1,779	2,745	1,413	1,332	△ 20.2	△ 14.8	△ 25.1
基幹的農業従事者	3,030	1,556	1,474	2,450	1,333	1,117	△ 19.1	△ 14.3	△ 24.2

<年齢別>

単位:人, %

区分	2005年			2010年			増減率		
	計	15～64歳	65歳以上	計	15～64歳	65歳以上	計	15～64歳	65歳以上
農業従事者	4,192	2,546	1,646	3,282	1,829	1,453	△ 21.7	△ 28.2	△ 11.7
農業就業人口	3,438	1,883	1,555	2,745	1,391	1,354	△ 20.2	△ 26.1	△ 12.9
基幹的農業従事者	3,030	1,703	1,327	2,450	1,298	1,152	△ 19.1	△ 23.8	△ 13.2

(3) 農業後継者(販売農家)

～農業後継者のいる経営体は微増～

同居農業後継者がいる経営体数は212経営体(構成比15.8%)、他出農業後継者がいる経営体数は101経営体(同7.5%)であり、農業後継者のいる経営体数はあわせて313経営体(同23.3%)となっており、前回調査と比べると2.6%の増加となった。

表7 農業後継者の有無別経営体数(販売農家)

単位:経営体, %

区分	経営体数	後継者あり					後継者なし	
		計	同居農業後継者がいる			他出農業後継者がいる		
			小計	男	女			
実数	2005年	1,746	305	236	225	11	69	1,441
	2010年	1,346	313	212	198	14	101	1,033
対前回比	増減数	△ 400	8	△ 24	△ 27	3	32	△ 408
	増減率	△ 22.9	2.6	10.2	△ 12.0	27.3	46.4	28.3
構成比	2005年	100.0	17.5	13.5	12.9	0.6	4.0	82.5
	2010年	100.0	23.3	15.8	14.7	1.0	7.5	76.7

(4) 経営耕地の状況(販売農家)

～経営耕地面積は微減、うち借入耕地面積は増加～

経営耕地面積は、11,393haで前回調査と比べ461ha(3.9%)減少した。このうち田の面積が426ha(4.2%)、畑の面積が36ha(2.2%)減少となっている。

利用地目別の構成比でみると、稲を作った田が59.2%と最も多く、次いで稲以外の作物だけを作った田23.8%、普通畑7.3%などとなっている。

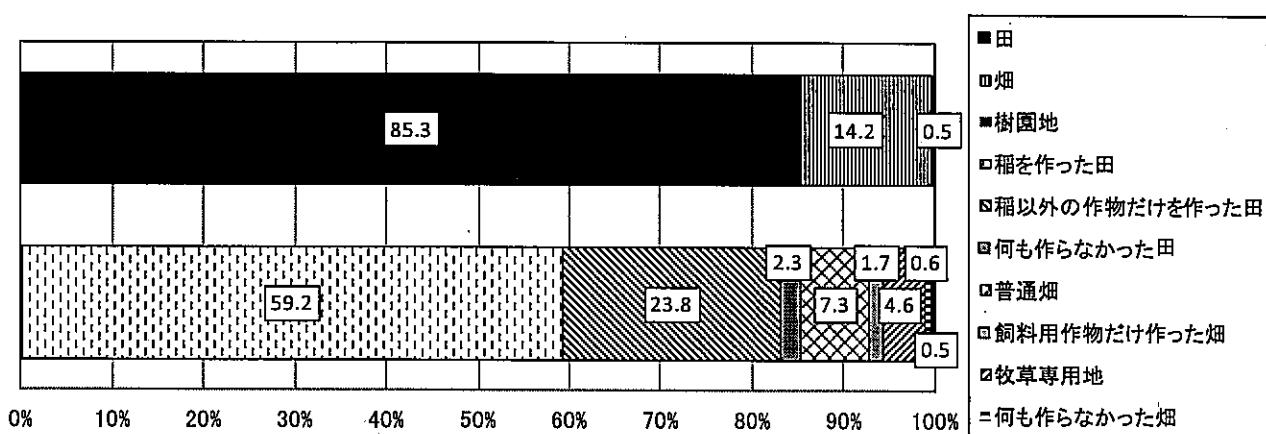
また、経営耕地面積のうち、借入耕地面積が37.3%を占めており、前回調査と比べ772ha(22.2%)の増加となっている。

表8 経営耕地の状況(販売農家)

単位:ha, %

区分	総経営面積耕計地	田				畑				樹園地	経営耕地のうち 借入耕地面積
		面積計	稲を作った田	稲以外の作物だけを作った田	何も作らなかった田	面積計	普通畑	飼料用作物だけ作った畑	牧草専用地		
実数	2005年	11,854	10,149	6,806	2,870	473	1,653	872	410	294	77
	2010年	11,393	9,723	6,750	2,711	262	1,617	837	192	520	69
対前回比	増減数	△461	△426	△56	△159	△211	△36	△35	△218	226	△8
	増減率	△3.9	△4.2	△0.8	△5.5	△44.6	△2.2	△4.0	△53.2	76.9	△10.4
構成比	2005年	100.0	85.6	57.4	24.2	4.0	13.9	7.4	3.5	2.5	0.6
	2010年	100.0	85.3	59.2	23.8	2.3	14.2	7.3	1.7	4.6	0.6
											0.4
											29.4
											37.3

図3 経営耕地の状況(販売農家)



(5) 農業生産(販売農家)

～作付面積は減少、家畜は豚・肉用牛が増加～

農作物の作付面積は、9,159haで、前回調査と比べ483ha(5.0%)減少した。

種類別に見ると、その他の作物が208ha(55.0%)、麦類が116ha(12.7%)、豆類が95ha(13.7%)減少したが、雑穀が53ha(10.2%)、いも類が13ha(8.9%)増加した。

構成比では、前回調査と比べ稲が2.6%増加し69.5%を占めており、本市農業の基幹となっている。

家畜飼養経営体数は、前回調査と比べ、乳用牛が6経営体(21.4%)減少したが、肉用牛は2経営体(13.3%)、豚は1経営体(33.3%)増加した。また、飼養頭羽数は乳用牛が273頭(19.7%)減少し、豚は1,030頭(25.4%)、肉用牛は150頭(15.2%)増加した。

表9 農作物の類別作付面積(販売農家)

単位:ha, %

区分		2005年	2010年	対前回比		構成比	
				増減数	増減率	2005年	2010年
総 数		9,642	9,159	△ 483	△ 5.0	100.0	100.0
稻		6,451	6,367	△ 84	△ 1.3	66.9	69.5
麦 類		913	797	△ 116	△ 12.7	9.5	8.7
雑 穀		518	571	53	10.2	5.4	6.2
い も 類		146	159	13	8.9	1.5	1.7
豆 類		692	597	△ 95	△ 13.7	7.2	6.5
工芸農作物		150	132	△ 18	△ 12.0	1.6	1.4
野 菜 類		343	341	△ 2	△ 0.6	3.6	3.7
花き類・花木		50	24	△ 26	△ 52.0	0.5	0.3
その他の作物		378	170	△ 208	△ 55.0	3.9	1.9

表10 家畜等を販売目的で飼養している経営体数と飼養頭羽数(販売農家)

単位:経営体、頭、羽

区分	2005年		2010年		増減率		1経営体あたりの飼養頭羽数 (2010年)
	経営体数	飼養頭羽数	経営体数	飼養頭羽数	経営体数	飼養頭羽数	
乳用牛	28	1,387	22	1,114	△ 21.4	△ 19.7	50.6
肉用牛	15	985	17	1,135	13.3	15.2	66.8
豚	3	4,050	4	5,080	33.3	25.4	1,270.0
馬	8	43
採卵鶏	2	X	1	X	△ 50.0
栽培きのこ、 その他の家畜等	16

(注)「馬」の区分は、2010年に新設された「栽培きのこ、その他の家畜等」の区分に含まれることとなった。

(6) 農業用機械（販売農家）

～農業用機械は所有農家数・所有台数ともに減少～

農業用機械の所有台数をみると、前回調査と比べ、トラクターの 499 台 (18.5%) 減をはじめ、コンバインが 274 台 (24.7%)、動力田植機が 264 台 (23.8%) 減となった。

表11 農業用機械の所有農家数と所有台数

単位: 経営体, %

区分	動力田植機		トラクター		コンバイン		
	農家数	台数	農家数	台数	農家数	台数	
実数	2005年	1,081	1,107	1,574	2,693	1,062	1,110
	2010年	821	843	1,168	2,194	784	836
対前回比	増減数	△ 260	△ 264	△ 406	△ 499	△ 278	△ 274
	増減率	△ 24.1	△ 23.8	△ 25.8	△ 18.5	△ 26.2	△ 24.7

(7) 農家の状況

～自給的農家のみ増加、農家数の減少傾向は続く～

販売農家と自給的農家を合わせた総農家数は、1,647 戸と、前回調査と比べて 326 戸 (16.5%) 減少しており、減少傾向が続いている。

その内訳をみると、販売農家が 1,346 戸で 22.9% 減少したのに対し、自給的農家は 301 戸で 32.6% 増と大幅に増加している。

販売農家を専兼業別にみると、専業農家が 743 戸 (構成比 45.1%) で最も多く、次いで第 1 種兼業農家が 315 戸 (同 19.1%)、第 2 種兼業農家が 288 戸 (同 17.5%) の順となった。

図4 農家数の推移

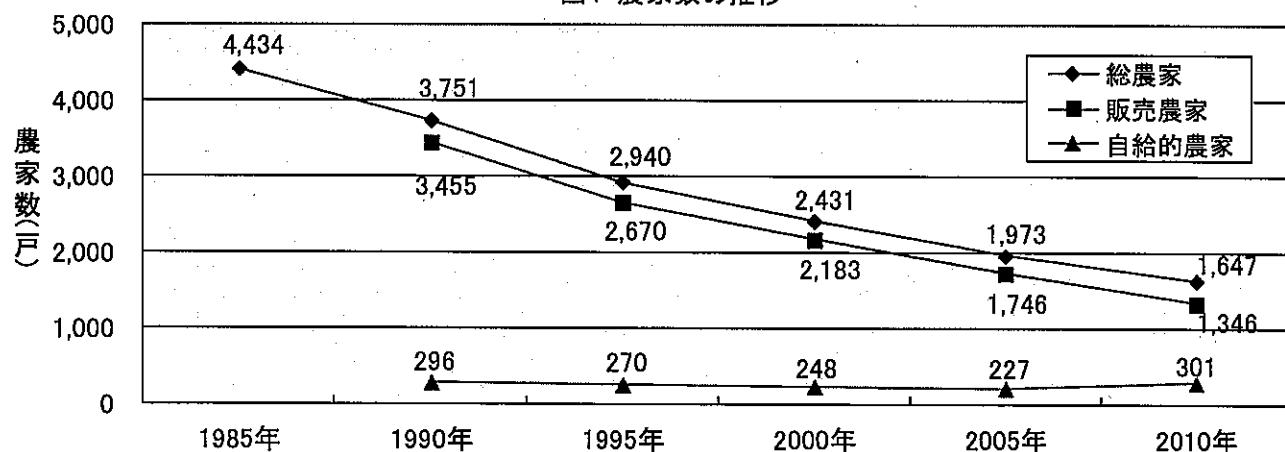


表12 専兼業別農家数

単位:戸, %

区分	農 家			専業農家	兼業農家		
	総農家	販売農家	自給的農家		計	第1種 兼業農家	第2種 兼業農家
実数	1985年	4,434	4,194	240
	1990年	3,751	3,455	296	1,022	2,433	1,378 1,055
	1995年	2,940	2,670	270	822	1,848	1,151 697
	2000年	2,431	2,183	248	762	1,421	772 649
	2005年	1,973	1,746	227	731	1,015	570 445
	2010年	1,647	1,346	301	743	603	315 288
増減率	1985年	△ 5.9
	1990年	△ 15.4	△ 17.6	23.3
	1995年	△ 21.6	△ 22.7	△ 8.8	△ 19.6	△ 24.0	△ 16.5 △ 33.9
	2000年	△ 17.3	△ 18.2	△ 8.1	△ 7.3	△ 23.1	△ 32.9 △ 6.9
	2005年	△ 18.8	△ 20.0	△ 8.5	△ 4.1	△ 28.6	△ 26.2 △ 31.4
	2010年	△ 16.5	△ 22.9	32.6	1.6	△ 40.6	△ 44.7 △ 35.3
構成比	1985年	100.0
	1990年	100.0	92.1	7.9	27.2	64.9	36.7 28.1
	1995年	100.0	90.8	9.2	28.0	62.9	39.1 23.7
	2000年	100.0	89.8	10.2	31.3	58.5	31.8 26.7
	2005年	100.0	88.5	11.5	37.1	51.4	28.9 22.6
	2010年	100.0	81.7	18.3	45.1	36.6	19.1 17.5

(注) 専兼業別農家数は、販売農家数の内訳である。

3 林業経営体

林業経営体を組織形態別にみると、法人化していない経営体が 150 経営体（構成比 83.8%）と大部分を占めており、法人化している経営体が 27 経営体（同 15.1%）、地方公共団体・財産区が 2 経営体（同 1.1%）であった。

また、保有山林面積規模別にみると、5~10ha 層が 62 経営体（同 34.6%）で最も多く、次いで 3~5ha 層の 48 経営体（同 26.8%）、10~20ha 層の 24 経営体（同 13.4%）の順となっている。

過去 1 年間に保有山林から生産された林産物を販売したのは 16 経営体（同 8.9%）であった。

表13 組織形態別林業経営体数

単位:経営体, %

項目	計	法人化している					地方公共団体・財産区	法人化していない
		小計	農事組合法人	会社	各種団体	その他の法人		
実数	2005年	265	44	1	33	4	6	219
	2010年	179	27	2	17	2	6	150
構成比	2005年	100.0	16.6	0.4	12.5	1.5	2.3	0.8
	2010年	100.0	15.1	1.1	9.5	1.1	3.4	1.1

表14 保有山林面積規模別経営体数

単位:経営体, %

区分	総数	保有山林なし	3ha未満	3~5	5~10	10~20	20~30	30~50	50~100	100~500	500~1,000	1,000ha以上
実数	2005年	265	7	-	69	98	47	10	11	10	8	-
	2010年	179	2	2	48	62	24	8	12	11	5	1
対前回比	増減数	△86	△5	2	△21	△36	△23	△2	1	1	△3	1
	増減率	△32.5	△71.4	-	△30.4	△36.7	△48.9	△20.0	9.1	10.0	△37.5	-
構成比	2005年	100.0	2.6	-	26.0	37.0	17.7	3.8	4.2	3.8	3.0	-
	2010年	100.0	1.1	1.1	26.8	34.6	13.4	4.5	6.7	6.1	2.8	0.6

表15 林産物販売金額規模別経営体数

単位:経営体, %

区分	経営体数		対前回比		構成比	
	2005年	2010年	増減数	増減率	2005年	2010年
総 数	265	179	△86	△32.5	100.0	100.0
販売なし	251	163	△88	△35.1	94.7	91.1
50万円未満	4	3	△1	△25.0	1.5	1.7
50 ~ 100	2	3	1	50.0	0.8	1.7
100 ~ 500	1	6	5	500.0	0.4	3.4
500 ~ 1,000	1	1	-	-	0.4	0.6
1,000 ~ 5,000	2	2	-	-	0.8	1.1
5,000 ~ 1億	3	1	△2	△66.7	1.1	0.6
1億円以上	1	-	△1	△100.0	0.4	-

III 統計資料

第1表 組織形態別農業経営体数

		法人化している										法人化していない		単位:経営体	
地区	計	農事組合 法人	会社			各種団体			その他の法人	地方公共団体・財産区	個人 経営体	法人化していない	法人化していない	法人化していない	法人化していない
			株式会社	合資会社	合同会社	相互会社	農協	森林組合							
全市	1,397	45	8	32	1	1	-	1	-	1	1	1	1	1,351	1,339
旧市内	29	3	-	1	-	-	1	-	-	1	1	1	1	25	25
神居	187	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	184	181
江丹別	52	9	6	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	43	43
永山	176	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	174	173
東旭川	438	16	-	14	1	-	-	-	-	1	-	-	-	422	418
神楽	248	10	2	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	238	237
東鷹栖	267	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	265	262

第2表 経営耕地面積規模別経営体数(販売農家)

地 区	計	經營耕 地株式 会社	0.3ha 未満	0.3~ 0.5ha	0.5~ 1.0ha	1.0~ 1.5ha	1.5~ 2.0ha	2.0~ 3.0ha	3.0~ 5.0ha	5.0~ 10.0ha	10.0~ 20.0ha	20.0~ 30.0ha	30.0~ 50.0ha	50.0~ 100.0ha	100ha 以上	単位:経営体	
全 市	1,346	1	30	50	85	80	70	187	232	239	227	86	40	17	2		
旧市内	25	-	1	3	1	1	6	3	4	2	1	-	-	-	-		
神居	179	-	-	4	15	14	15	37	38	26	19	8	1	2	-		
江丹別	43	-	-	2	2	3	3	6	11	6	2	2	3	3	-		
永山	173	-	5	8	10	16	11	26	28	25	34	10	-	-	-		
東旭川	423	1	14	23	30	25	27	66	57	75	61	20	17	6	1		
神楽	243	-	3	7	14	17	10	30	47	43	37	17	11	6	1		
東鷹栖	260	-	7	3	11	4	3	16	48	60	72	28	8	-	-		

第3表 農産物販売金額規模別経営体数(販売農家)

地 区	計	販売額 未満 50万円	経営体数						経営体				
			50 万円 未満	100 万円 未満	200 万円 未満	300 万円 未満	500 万円 未満	700 万円 未満	1,000 万円 未満	1,500 万円 未満	2,000 万円 未満	3,000 万円 未満	5,000 万円 未満
全 市	1,346	78	109	100	142	144	156	123	128	137	86	85	50
旧 市 内	25	4	1	6	4	5	1	2	—	1	1	—	—
神 居	179	19	37	10	18	10	15	20	17	17	4	9	3
44 江 舟 別	43	4	12	6	8	3	—	—	2	3	1	4	—
永 山	173	5	11	13	21	28	22	14	17	17	11	12	2
東 旭 川	423	16	25	30	50	52	59	38	37	37	23	27	23
神 楽	243	16	20	22	25	22	28	23	17	26	15	14	14
東 鷹 栖	260	14	3	13	16	24	31	26	38	36	31	19	8
													1

第4表 自営農業従事日数別の農業就業人口(自営農業に主として従事した世帯員数)(販売農家)

地 区	計	計						男						女										
		29日 以下	30~ 59	60~ 99	100~ 149	150~ 199	200~ 249	250日 以上	小計	29日 以下	30~ 59	60~ 99	100~ 149	150~ 199	200~ 249	250日 以上	小計	29日 以下	30~ 59	60~ 99	100~ 149	150~ 199	200~ 249	250日 以上
全 市	2,745	169	156	189	225	420	632	954	1,413	53	69	75	97	196	342	581	1,332	116	87	114	128	224	290	373
旧市内	41	4	6	3	3	9	5	11	22	1	3	2	1	5	2	8	19	3	3	1	2	4	3	3
神 居	310	16	17	17	16	41	80	123	158	4	6	7	4	24	42	71	152	12	11	10	12	17	38	52
江 丹 別	73	6	13	11	13	10	—	20	37	3	7	4	7	5	—	11	36	3	6	7	6	5	—	9
永 山	354	20	13	18	36	42	103	122	178	4	5	9	16	17	57	70	176	16	8	9	20	25	46	52
東 旭 川	846	52	41	62	68	126	190	307	434	18	16	25	34	48	109	184	412	34	25	37	34	78	81	123
神 樂	557	48	39	30	43	101	108	188	294	16	21	8	16	51	64	118	263	32	18	22	27	50	44	70
東 鷹 棚	564	23	27	48	46	91	146	183	290	7	11	20	19	46	68	119	274	16	16	28	27	45	78	64

第5表 経営耕地の状況(販売農家)

地 区	総經營面積 ha	経田の 經營体 数	面積計 ha	田												畑				樹園地			
				稻を作った田				何も作らなかつた田				普通畑				飼料用作物だけを作った田		牧草専用地		何も作らなかつた畑		樹園地のうち 借入耕地	
				經營面積 ha	經營體數	面積 ha	經營體數	經營面積 ha	經營體數	面積 ha	經營體數	經營面積 ha	經營體數	面積 ha	經營體數	面積 ha	經營體數	面積 ha	經營體數	面積 ha	經營體數	面積 ha	
全 市	11,392.86	1,247 9,723.37	904 6,750.36	939 2,711.18	222	261.83	655	1,617.05	569	836.78	20	191.54	52	519.68	112	69.05	42	52.44	531	4,252.90			
旧市内	110.88	16	78.01	8	41.10	14	33.07	5	3.84	17	32.37	15	27.55	2	X	-	-	4	X	1	X	4	26.64
46 神居	1,119.33	150	725.69	89	494.59	110	208.29	19	22.81	81	348.30	58	37.54	1	X	17	X	21	34.07	36	45.34	50	303.35
江丹別	480.28	36	277.63	5	12.52	34	265.11	-	-	20	202.65	10	5.02	3	63.47	9	134.16	-	-	-	-	8	142.33
永山	1,098.57	163	1,071.43	133	803.77	126	258.14	23	9.52	82	27.14	79	22.25	2	X	2	X	12	X	-	-	68	465.70
東旭川	3,433.28	394	3,294.62	287	2,158.02	282	1,051.17	71	85.43	185	134.86	167	96.82	6	16.82	5	8.12	26	13.10	3	3.80	170	1,702.75
神楽	2,439.28	231	1,706.92	162	1,152.03	199	516.18	29	38.71	114	729.56	103	626.51	3	68.43	10	29.86	13	4.76	2	X	97	617.53
東鷹栖	2,711.24	257	2,569.07	220	2,088.33	174	379.22	75	101.52	156	142.17	137	21.09	3	37.46	9	71.82	36	11.80	-	-	134	994.60

第6表 販売目的で作付け(栽培)した作物の類別作付(栽培)面積(販売農家)

単位:ha

地 区	作付 (栽培) 面積計	類 別 作 付 (栽 培) 面 積								
		稻	麦類	雜穀 ^a	いも類	豆類	工芸 農作物	野菜類 ・花木	花き類 ・花木	その他の 作物
全 市	9,158.67	6,367.07	797.29	571.11	158.90	597.46	131.91	341.40	23.90	169.62
旧 市 内	88.50	39.27	1.25	33.53	0.01	0.91	—	5.21	—	8.32
神 居	674.50	479.36	—	107.50	1.00	3.92	—	51.92	3.05	27.74
江 丹 別	117.13	12.39	8.00	64.29	0.06	0.36	—	5.49	—	26.54
永 山	1,026.64	785.05	35.11	32.38	0.06	96.33	0.06	41.30	5.46	30.89
東 旭 川	3,059.63	2,078.66	389.63	138.01	0.20	332.63	—	79.86	11.49	29.15
神 楽	1,990.19	1,003.80	245.52	183.16	157.26	131.25	131.81	113.59	2.72	21.08
東 鷹 桜	2,202.08	1,968.54	117.78	12.24	0.31	32.06	0.04	44.03	1.18	25.90

第7表 農業用機械の所有経営体数と所有台数(販売農家)

		単位:台																	
		全			旧市内			神居		江丹別		永山		東旭川		神		東鷹栖	
地 区		市		市		市		居		別		山		川		旭		神	
動力田植機		経営体数		821		9		76		3		118		247		156		212	
ト ラ ク タ ー	台 数	843		9		79		3		120		254		158		220			
	経営体数	1,168		22		152		31		153		348		224		238			
コ ン バ イ ン	台 数	2,194		36		237		66		265		638		473		479			
	経営体数	784		8		68		6		114		233		152		203			
	合 数	836		8		70		6		116		253		165		218			

第8表 主副業別専兼業別農家数(販売農家)

単位:戸

地 区	計	農家数				農家数						
		主業農家 65歳未満の 農業専従者 がいる	準主業農家 65歳未満の 農業専従者 がいる	副業的農家		専業農家		兼業農家				
				男子生産 年齢人口 がいる	女子生産 年齢人口 がいる	男子生産 年齢人口 がいる	女子生産 年齢人口 がいる	計	第1種 兼業農家			
全 市	1,346	640	596	143	95	563	743	334	318	603	315	288
49 旧市内	25	4	4	7	5	14	9	2	—	16	3	13
神 居	179	72	68	15	8	92	99	41	42	80	29	51
江 丹 別	43	13	8	5	1	25	25	7	9	18	5	13
永 山	173	77	74	15	10	81	97	37	28	76	46	30
東 旭 川	423	204	186	46	31	173	221	97	102	202	111	91
神 楽	243	112	108	20	15	111	150	67	59	93	53	40
東 鷹 棚	260	158	148	35	25	67	142	83	78	118	68	50

【3】農業労働力

- 1 過去1年間に農業経営のために常雇した人あらかじめ年間7か月以上の契約で雇った人)について、実人数と從事した日数の合計を記入してください。

	実人数	從事日数	日
男	323	324	
女	225	226	

- 2 過去1年間に自宮農業に従事した労働時間が
なかつた方 → 従事しなかった方
過去1年間に自宮農業に従事した労働時間が
なかつた方 → 従事しなかった方
過去1時間未満の方(1時間から8時間) → 1日
・8時間未満の方(1時間から8時間) → 1日
・1日4時間で、100日従事した方 → 50日
(1日4時間なので、2日で100日の半分の50日となります。)

※ 従事日数に関する他の設問(31B)(12)
についても、従事日数を1日を基準で計算して記入してください。

- 「⑥従事日数が多いのはどちらですか」は、

- 「収入を得るために仕事を行つた方にについて、「自宮農業」と「自宮農業以外」の仕事で從事日数の多いものに〇を記入してください。
なお、「⑦過去1年間の生活の主な状態」が、「家事・育児」「学生(宿舎を含む)」「上記以外」の方でも、手元で自宮農業に従事したり、パート等で自宮農業以外の仕事に従事した方にいて、また、従事日数の多いものに〇を記入してください。
また、従事日数が同じ場合は、収入の多いものに〇を記入してください。

- 「⑧過去1年間の生活の主な状態」については、該当する項目に〇を記入してください。
・仕事が主の方で
　　→ 「主に自宮農業」
・主に会社等に勤務している
　　→ 「主に他に勤務」
・主に商店などの自宮農業以外の自営業を営んでいる
　　→ 「主に農業以外の自営業」

	男	女
1 ~ 2 9 日	300	301
3 0 ~ 5 9 日	302	303
6 0 ~ 9 9 日	307	308
1 0 0 ~ 1 4 9 日	309	310
1 5 0 ~ 1 9 9 日	311	312
2 0 0 ~ 2 4 9 日	313	314
2 5 0 日以上	315	316
合計		

	男	女
所有している樹園地	212	
うち、他に貸している樹園地	213	
うち、耕作を放棄した樹園地	214	
地から借り入れている樹園地	215	
樹園地の經營耕地	(212 - 213 - 214 + 215)	(2)

	男	女
畜産用地を記入してください。		
畜産用地を記入してください。		
畜産用地を記入してください。		

	男	女
畜産用地を記入してください。		
畜産用地を記入してください。		
畜産用地を記入してください。		

	男	女
畜産用地を記入してください。		
畜産用地を記入してください。		
畜産用地を記入してください。		

	男	女
畜産用地を記入してください。		
畜産用地を記入してください。		
畜産用地を記入してください。		

【4】土地

- 詰入に当たっては、5ページの「注意」を参照してください。

1 土について面積を記入してください。

	(ha)	(ha)
所有している畠	218	
うち、他に貸している畠	219	
うち、耕作を放棄した畠	220	
地から借り入れている畠	221	
畠の經營耕地	(218 - 219 - 220 + 221)	(3)

	(ha)	(ha)
所有している畠	218	
うち、他に貸している畠	219	
うち、耕作を放棄した畠	220	
地から借り入れている畠	221	
畠の經營耕地	(218 - 219 - 220 + 221)	(3)

【4】土

- 詰入に当たっては、5ページの「注意」を参照してください。

1 土について面積を記入してください。

	(ha)	(ha)
所有している畠	202	
うち、他に貸している畠	203	
うち、耕作を放棄した畠	204	
地から借り入れている畠	205	
畠の經營耕地	(202 - 203 - 204 + 205)	(1)

	(ha)	(ha)
所有している畠	202	
うち、他に貸している畠	203	
うち、耕作を放棄した畠	204	
地から借り入れている畠	205	
畠の經營耕地	(202 - 203 - 204 + 205)	(1)

【4】土

- 詰入に当たっては、5ページの「注意」を参照してください。

1 土について面積を記入してください。

	(ha)	(ha)
所有している畠	202	
うち、他に貸している畠	203	
うち、耕作を放棄した畠	204	
地から借り入れている畠	205	
畠の經營耕地	(202 - 203 - 204 + 205)	(1)

	(ha)	(ha)
所有している畠	202	
うち、他に貸している畠	203	
うち、耕作を放棄した畠	204	
地から借り入れている畠	205	
畠の經營耕地	(202 - 203 - 204 + 205)	(1)

【10】農作業の受託

- 1 過去1年間の農作業による料金收入について、該当するものに○を記してください。

受託料金(単位:円)		受託面積(単位:ha)	
耕 地 入 れ 金	し 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17	田 地 耕 起 代 か き	01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17
1 5 万 円 未 満	01	01	
15 ~ 50 万 円 未 満	02	02	
50 ~ 100 万 円 未 満	03	03	
100 ~ 200 万 円 未 満	04	04	
200 ~ 300 万 円 未 満	05	05	
300 ~ 500 万 円 未 満	06	06	
500 ~ 700 万 円 未 満	07	07	
700 ~ 1000 万 円 未 満	08	08	
1000 ~ 1500 万 円 未 満	09	09	
1500 ~ 2000 万 円 未 満	10	10	
2000 ~ 3000 万 円 未 満	11	11	
3000 ~ 5000 万 円 未 満	12	12	
5000 万 ~ 1 億 円 未 満	13	13	
1 ~ 3 億 円 未 満	14	14	
3 ~ 5 億 円 未 満	15	15	
5 億 円 以 上	16	16	

- 2 過去1年間によそから受託したさとうきび作業の受託面積を記入してください。

受託面積(単位:ha)		受託料金(単位:円)	
大 き さ く	作 業 種 類 別 別	01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17	01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17
大	さ	01	
中	小	02	
防	除	03	
土	作	04	
作	地	05	
地	作	06	
作	地	07	
地	作	08	
地	作	09	
地	作	10	
地	作	11	
地	作	12	
地	作	13	
地	作	14	
地	作	15	
地	作	16	
地	作	17	

- 3 過去1年間によそから受託したさとうきび作業の受託面積を記入してください。

受託面積(単位:ha)		受託料金(単位:円)	
大 き さ く	作 業 種 類 別 別	01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17	01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17
大	さ	01	
中	小	02	
防	除	03	
土	作	04	
作	地	05	
地	作	06	
作	地	07	
地	作	08	
地	作	09	
地	作	10	
地	作	11	
地	作	12	
地	作	13	
地	作	14	
地	作	15	
地	作	16	
地	作	17	

- 4 過去1年間によそから受託したその他の農作業について、受託料金を記入してください。

受託料金(単位:円)		受託面積(単位:ha)	
大 き さ く	作 業 種 類 別 別	01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17	01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17
大	さ	01	
中	小	02	
防	除	03	
土	作	04	
作	地	05	
地	作	06	
作	地	07	
地	作	08	
地	作	09	
地	作	10	
地	作	11	
地	作	12	
地	作	13	
地	作	14	
地	作	15	
地	作	16	
地	作	17	

【11】都道府県設定期

該当する項目を記入してください。

1 森林組合や会社等の法人の方のみでなく、世帯で森林経営を行っている方も記入してください。
2 従事日数については、1日を8時間として計算して記入してください。(詳しくは3ページの「注意」を参照してください)

【12】林業労働力

1 世帯員又は経営の責任者・役員・山林の共同保有者のうち過去1年間に林業経営に従事した人について、従事日数別に実人数を記入してください。

男 人		女 人	
1 ~ 2 9 日	304	1 ~ 2 9 日	304
30 ~ 59 日	595	30 ~ 59 日	595
60 ~ 99 日	577	60 ~ 99 日	577
100 ~ 149 日	525	100 ~ 149 日	525
150 ~ 199 日	511	150 ~ 199 日	511
200 ~ 249 日	531	200 ~ 249 日	531
250 日 以 上	935	250 日 以 上	935
計		計	

2 過去1年に林業経営のために常雇いた人(あらかじめ年間7か月以上の契約で雇った人)について、実人数と従事した日数の合計を記入してください。

男 人		女 人	
949		944	
946		946	

3 過去1年に日雇・季節雇などで、林業経営のために臨時雇いた人手伝い等を含みます)について、実人数と従事した日数の合計を記入してください。

男 人		女 人	
744		744	
746		746	

4 過去1年に常に又は臨時雇いた人のうち150日以上林業労働に従事した人について、実人数を記入してください。

從事者の合計	
595	

【15】林産物の販売

1 過去1年間の林産物の販売額(売上高)の合計について、該当するものに○を記入してください。

「営業収益額」の記入は、各事業ごとに下記の例を参考に記入してください。
 <例>
 1haの山林で下刈り作業を2度行った場合でも、
 2haとせず、1haと記入してください。

【13】林業作業
 1 【4】の4の保有山林における過去5年間の林業作業について、該当するものすべてに○を記入してください。

【14】素材生産
 1 【4】の4保有山林において、自ら採採した過去1年間の素材生産量を記入してください。

植	株	916	1
下刈りなど	917		
切捨間伐	918		
間伐	919		
主伐	920		

材 生 量	911	1
うち、立木販売による	913	

【16】林業作業の受託

1 過去1年間の林業作業の受託(立木販賣による収益を含む)による料金収入があると答えた方にのみ記入してください。

2 過去1年間の林業作業の受託面積を記入してください。

植	916	1	01
1 5 万 円 未 満	02	01	
15 ~ 50万円未満	03	15 ~ 50万円未満	02
50 ~ 100万円未満	04	50 ~ 100万円未満	03
100 ~ 200万円未満	05	100 ~ 200万円未満	04
200 ~ 300万円未満	06	200 ~ 300万円未満	05
300 ~ 500万円未満	07	300 ~ 500万円未満	06
500 ~ 700万円未満	08	500 ~ 700万円未満	07
700 ~ 1000万円未満	09	700 ~ 1000万円未満	08
1000 ~ 1500万円未満	10	1000 ~ 1500万円未満	09
1500 ~ 2000万円未満	11	1500 ~ 2000万円未満	10
2000 ~ 3000万円未満	12	2000 ~ 3000万円未満	11
3000 ~ 5000万円未満	13	3000 ~ 5000万円未満	12
5000万 ~ 1億円未満	14	5000万 ~ 1億円未満	13
1 ~ 3億円未満	15	1 ~ 3億円未満	14
3 ~ 5億円未満	16	3 ~ 5億円未満	15
5 億 円 以 上	17	5 億 円 以 上	16

植	916	1
下刈りなど	917	
切捨間伐	918	
間伐	919	
主伐	920	

植	916	1
「5億円以上の場合は、金額を記入してください。	917	
「5億円以上の場合は、金額を記入してください。	918	
「5億円以上の場合は、金額を記入してください。	919	
「5億円以上の場合は、金額を記入してください。	920	

1 「5億円以上の場合は、金額を記入してください。

2 沿岸1年間の林産物の販売について、該当するものすべてに○を記入してください。

用	立	木	で	911	1
材	業	材	で	912	1
供	だ	木	原	913	1
特	用	林	産	914	1

- 1 【4】の4保有山林において、自ら採採した過去1年間の素材生産量を記入してください。
- 2 受託もしくは立木販賣による過去1年間の素材生産量を記入してください。削除のうち素材として利用したものも含みます。

材	生	産	量	912	1
うち、立木販賣による	913			914	1

